

mecenat

平成20年度企業メセナセミナー

地域から見る 企業メセナの可能性

— アートと企業と地域とのデザインを考える —

日時 2009年2月26日(木)16:00~

おうてんいん

会場 應典院本堂ホール

Bepu

Osaka



[主催] 財団法人大阪21世紀協会 / 社団法人企業メセナ協議会

[共催] 應典院寺町倶楽部

[協力] 浄土宗應典院

illustration: Naoko Hibino

地域から見る 企業メセナの可能性

— アートと企業と地域とのデザインを考える —

“企業”と“アート”が結びつくことで、今まで以上に広い価値観が共有できるようになる。➡ “アート”が“地域”とかかわること、その地域ならではの魅力を生み出す。➡そして“地域”の魅力が、“企業”の活動を支え、また新たな“産業”を生み出す!! そのように、“企業”と“アート”と“地域”がお互いに支え合い、地域社会を持続可能なものにするシクミは、どのようにデザインできるでしょうか？

今回のメセナセミナーでは、そうした視線から、大阪と別府で展開されている事例を紹介し、そこから今後の企業メセナの可能性を探っていきたいと思います。

デザイン【design】ある対象について、良い構成を工夫すること

【事例紹介】

- ①【大阪】アーティストの可能性を引き出した老舗塗料メーカーとのコラボレーション
中西 美穂氏 (NPO法人 大阪アーツアポリア 代表理事)
- ②【大阪】ダンボール工場×アートの「ふしぎかわいい」プロコージュのかたち
島津 聖氏(矢野紙器株式会社 Able Design 事業部プロダクトマネージャー)
山下 里加氏(アートジャーナリスト/京都造形芸術大学講師)
- ③【別府】別府から見る市民主導型のフェスティバルと企業メセナの結びつき
山出 淳也氏 (NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事)

【トークセッション】

企業とNPOのコラボレーションの可能性

トーカー 中西 美穂氏/島津 聖氏/山下 里加氏/山出 淳也氏
ファシリテーター 山口 洋典氏(應典院 主幹)

時：2009年2月26日(木)16:00～

- 会場： 應典院本堂ホール
大阪市天王寺区下寺町1-1-27 Tel:06-6771-7641
- 定員：70名(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 参加料：無料
- お申込み：氏名・所属団体名・住所・電話番号・E-mailアドレス・受講動機、
「メセナセミナー申込み」と記載し、FaxまたはE-mailにてお申込み下さい。
Fax:06-6942-5945 E-mail:mecenat@osaka21.or.jp
- お問合せ：財団法人大阪21世紀協会 Tel:06-6942-2004
〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 大阪キャッスルホテル4階
- 主催：財団法人大阪21世紀協会 社団法人企業メセナ協議会
- 共催：應典院寺町倶楽部 協力：浄土宗應典院

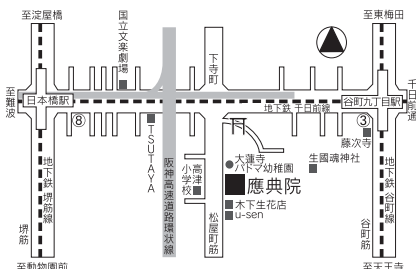
1968年大阪生まれ、京都精華大学美術学部卒業、NPO大阪アーツアポリア代表理事、日本アートマネジメント学会会員、非営利アートプロジェクトのプロデュースに取り組み、主なプロジェクトに「アーティスト夏休み病院(2004～、大阪府立大学医学部附属病院)」「コミカル&シニカル 韓国と日本の現代写真/女性のディレクターから見た一側面(2007～8年、大阪府立ドーンセンター、韓国バジュックシティ)」「アートによる能楽室(2007～、山本能楽堂)」「ふしぎな水鳥をつくらう～bird scape Osaka 2008～(アーティスト井上信太、中之島)」,共著に「大阪力事典(創元社2004年)」,国際交流基金平成19年度知的フェロロシップにてフィリピンの協働型芸術事業調査。

矢野紙器株式会社社員、京都産業大学経営学部経営学科に在学中、山本憲司准教授(現大阪成蹊大学現代経営情報学部教授)のゼミ生を中心にNPO法人経営パラリンピック委員会を設立、関西を中心に、福祉事業所の経営面における「人づくり」「ものづくり」の事例発表会を毎年開催。矢野紙器では、ダンボールを使った観音村やパッケージ、家具、什器などの企画・設計を担当、クリエイティブ集団grafやハコプロとの協同開発も行う。2005年から子どもを対象にしたワークショップを多数実施。2008年度は大阪府からの委託事業として、NPO法人こども盆栽と連携したキャリア教育プログラムを行い、延べ400人を超える小学生に、ダンボールで「まち」を作りながら仕事や働くことについて考える授業を展開中。

アートジャーナリスト、京都造形芸術大学講師、大阪市立デザイン教育研究所講師。大阪市立大学大学院創造都市研究科修了。主にアートと社会の関係をテーマに執筆、プロジェクトを行う。2007年に障害ある人の表現から生まれた「ふしぎかわいい雑貨たち」と社会との出合いの場面を創造するチーム「ハコプロ」を立ち上げる。メンバーと共に、矢野紙器(株)とのコラボで、「産経はたけアート・フェスタ」、クリスマス長巻での「ハコプロ・マーケット」、全国を巡回する「ハコ旅」を企画、実現させて、共編著『きょうよりワクワクしてきた。～プリコージュ・アート・ナウ/日常の冒険者たち』(国立民族学博物館監修、青幻舎刊)など。

1970年生まれ。現代美術アーティスト、NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事。ACCによる助成を受けNY、PS1でのインターナショナルスタジオプログラム参加(2000～1)、文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002～2004)。主な展覧会として、「台北ビエンナーレTHE SKY IS THE LIMIT」台北市立美術館、台北市(2000～1)、「fmy home is yours, your home is mine」ロダンギャラリー、ソウル(2000～1)、「GIFT OF HOPE」東京京東現代美術館(2000～1)、「Strangers」PS1, NY(2001)、「Exposition collective」Palais de Tokyo,パリ(2002)、「Weird walls」Heerten, オランダ(2005)など多数。

應典院主幹、應典院寺町倶楽部事務局長、同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授、特定非営利活動法人きょうとNPOセンター常務理事、上町台地からまちを考える会事務局長。1975年静岡県豊田市出身。2000年3月、立命館大学大学院理工学研究科博士前期課程修了後、財団法人大学コンソーシアム京都事務局に勤務。併せて特定非営利活動法人きょうとNPOセンター設立に携わり、NPO分野の教育・人材育成に従事。また2002年から大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座博士後期課程に在学。2005年3月、大阪大学にて博士(人間科学)の学位を取得。2006年4月に應典院主幹ならびに應典院寺町倶楽部事務局長に就任。



地下鉄谷町九丁目3番出口より西へ徒歩9分 (両駅とも地上直通)
地下鉄日本橋駅8番出口より東へ徒歩9分 (エレベーターがあります)